

学校運営計画（4月）

評価（3月）

学校運営方針		日本国憲法、教育基本法の精神に則り、自律心や創造性を培い、心豊かで責任感あふれ、自ら学ぶ意欲を持ち、社会の変化に主体的に対応できる工業人の育成に努める。			
昨年度の成果と課題		年度重点目標	具体的目標		
本校は、創立112年目の歴史と伝統を誇る県下でも屈指の工業高校である。就職率100%、四年制大学進学者等を含め就職・進学ともに安定した進路実績がある。このことは、教育目標にある骨太の工業教育を永年に亘り実践してきた歴代校長以下、本校職員の実践が奏功、かつ有為な社会人として卒業生が活躍してきたことの賜物である。しかし、浮朝地区をはじめ地域の少子化に伴い、毎年定員割れ等の課題がある。本年度、本職を含めた全職員で「明るく、楽しく、元気良く」を合言葉に、課題解決に向けて具体的方策を検討し実践していく。		就職率100%の維持と進路内容の充実を図る。	・充実した授業(アクティブ・ラーニング)を展開することで、生徒の学力・技能の養成に努める。		
			・キャリア教育を充実させ、生徒の進路意識を高める。		
		テクノボランティア(実習の成果を生かした地域貢献・社会貢献活動)の拡充を図る。	・資格取得や基礎学力の育成のため、指導体制を強化する。		
			・「ものづくり教室」やテクノフェスタ等のテクノボランティアで確実な成果を上げる。		
ものづくりを通じた人づくりを推進する。	・「テクノボランティア」活動の活発化と、その内容の充実を図る。				
	・ものづくり部の指導体制の確立と活動の充実を図る。				
広報活動を充実させ、地域に信頼される学校づくりを行う。	・ものづくりは人づくりの観点から、挨拶指導や身だしなみ指導等を徹底する。				
	・幅広い人づくりを推進するため、部活動を充実させる。				
	・教員がしなやかな人権感覚をもち、いじめ撲滅等に向けた人間力の育成を行う。				
		・特色ある教育活動の実施において、その具体化となる教育課程や学校行事の充実を図る。			
		・テクノボランティアとともに地域貢献活動の推進(柔軟な生徒派遣)を行う。			
		・ホームページの充実を図るとともに、戦略的展開における広報活動を実施する。			
評価項目	具体的目標	具体的方策		評価	
教科指導	学習習慣の確立を図る。	学習環境の整備と授業規律を徹底することで、意欲的な学習態度の育成に取り組む。 朝課外授業や考査前学習会、資格取得を通して、学習習慣の定着と基礎学力の向上に取り組む。 1年生では、義務教育段階の学習内容の確実な定着を図り、高等学校の学習への円滑な移行に取り組む。			
	「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指した授業改善を推進する。	研修課と連携して、授業改善に組織的に取り組むための推進体制を構築する。 「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指した授業デザインや手法についての研究に取り組む。 全職員でアクティブ・ラーニングの視点による授業改善に取り組む。			
	不登校および中途退学者防止の取り組みを充実させる。	成績改善指導を通して、個に応じた学習支援に取り組む。 教科担当者や学年会、生徒サポート委員会で生徒の実態を把握し、適切な生徒支援に取り組む。			
	生徒指導	全職員による挨拶指導や身だしなみ指導を実施し、端正な服装と自律性ある態度の育成に取り組む。 校内外の巡回指導を実施して、生徒の実態を把握し、規範意識の醸成に取り組む。			
	学校生活の活性化を図る。	学校行事をけん引する生徒会・リーダー育成を図り、計画的、組織的な行事運営を行う。 生徒が学校行事に積極的な参加を促し、体験活動を通して生徒の自己存在感を高める。			
	交通安全教育の充実を図る。	生徒に係る事故状況を分析し、その内容を職員及び生徒に周知して安全運転に関する具体的留意点を示す。 交通安全教室等を通して、交通安全や交通ルールに関する意識の向上を図り、交通事故発生0に取り組む。			
	いじめの撲滅に取り組む。	全職員で学校いじめ防止基本方針について共通理解し、いじめの未然防止、早期発見・対応に取り組む。 学校生活アンケートを分析して実態を把握し、適切な生徒支援体制を整える。			
進路指導	進路希望を実現させる	各科・各教科と連携して、採用試験や入学試験の1次合格率を95%以上にする。 最新の進路情報を適宜提供すると共に、進路指導室の資料の有効活用を促す。 進路先との良好な関係を保つと共に、新たな進路先を開拓する。			
	社会人に向けた基本的な生活習慣の確立と基礎学力の定着を図る	基礎学力の定着を図るために、朝課外や隙間時間の有効活用を促す。 各担任や教務および生徒指導等と連携して基本的な生活習慣の育成に取り組む。 企業や上級学校の情報等を適宜提供し、基礎学力や教養の重要性を意識させ定着を図る。			
	キャリアプランニング能力の育成を図る	インターンシップや進路ガイダンス等を通して、職業観や勤労観の育成に取り組む。 インターンシップや実習等を通して、様々な課題を処理し解決することが出来る能力を育成する。 企業や上級学校の情報等を適宜提供し、個々に応じた生き方を意識させる。			
次年度の主な課題					

評価項目	具 体 的 目 標	具 体 的 方 策	評 価	次年度の主な課題
研 修	生徒の学習意欲を喚起して、生徒とともに「わかる授業」をめざして授業研究を進める。	3年に1回の、一般研究授業を年度末に集中しないように督促、案内を緻密にする。 指導主事を招いての特別研究授業を円滑・迅速に実施する。 日常的に授業を、交流しあう雰囲気職員間に醸成する。		
	幅広く職員研修を行い、職員個々の教育力の向上をめざし、教育集団としての力量を高めていく。	新・転入者オリエンテーションや専門研修の充実を図る。 昨年度の職員研修会を基に、さらに内容を高める。 精選された研究紀要の内容を、さらに発展させて充実させる。		
	教育情報	教育の情報化を推進する。		
校務の情報化を推進する。		ネットワークトラブルに迅速に対応できる体制を維持する。 共有フォルダの整理・整頓により保存容量を確保する。 各分掌と連携し利用しやすい環境を整える。		
保 健	全職員との連携を図った保健業務を行う。	保健室来室生徒への適切な対応と担任との連携に努める。 特別な支援を要する生徒の把握及び職員間の情報の共有・理解を行い、専門機関との連携を図る。 授業や部活動及び学校行事等における安全対策に配慮し、怪我や事故の防止に努める。		
	日常の清掃活動等を通じて、美化の意識向上と同時に、ゴミの分別・減量に努める。	日常の清掃活動の徹底を図り、心身共に健全で安心できる学校生活が送れるように努める。 美化コンクールを各学期1回実施し、美化委員会活動の活発化と美化の意識向上に努める。 職員・生徒による校内におけるゴミの持ち帰りを徹底し、分別・減量の意識向上に努める。		
庶 務	各種学校行事や取り組みを円滑に遂行する。	式典、全校集会などでの生徒の聴く態度を育てる。 教務、広報と連携し、中学校訪問や2回の体験入学を行い、効果的に本校の魅力を中学生に伝える。 行事予定を早めに提示し、各種行事の周知および情報共有を行う。		
	保護者、地域、同窓会との協力関係を構築し、学校の活性化につなげる。	PTA関係行事(総会、懇談会、講演会、あいさつ運動など)の参加者を増やすため、早期の連絡を行っていく。 公開する学校行事を通して、地域との関係強化を作る。 同窓会、教育振興会との協力体制を築く。		
広 報	地域や中学校に向けて広報活動を積極的に展開する。	中学校や塾への広報活動を年間を通じ、計画的で効果的な活動になるよう努める。 中学生や保護者が進路決定の際に望む情報の分析に努める。 ホームページや広報誌などの情報発信を計画的に行い、丁寧に本校の魅力が伝わるよう努める。		
	中学生体験入学や進路相談事業等において、本校の魅力を伝える内容を確立する。	進路相談事業において、中学生や保護者に本校の魅力を十分理解できる内容の向上に努める。 各科、進路、教務と連携を図り、効果的な体験入学が展開できるよう努める。 中学校の進路計画を把握し、それに乗じた広報活動が展開できるよう、中学校からの情報収集に努める。		
図 書	図書室の環境整備および図書資料の充実を図り、生徒の読書活動を推進する。	図書資料を精査、拡充し、利用しやすい図書環境を提供する。生徒の学習活動に対応する。 「朝の読書」や生徒の読書活動を推進する。図書利用マナー向上に努める。 図書委員会の、校内および校外活動を活性化させる。		
	視聴覚室の環境整備および視聴覚機材の充実を図る。	定期的な視聴覚機器の更新を要望し、教育活動に対応する。 視聴覚機器の維持管理を日頃より行い、利用しやすい視聴覚機器環境を提供する。 放送委員会において、各種学校行事の放送機器運用を積極的に行う。		
第 1 学 年	3年後の進路実現に向けて、基礎学力の向上を図り、進路に対する意識を高める。	授業へ取り組む姿勢を充実したものにするために、学年集会・HR等を通して動機付けを行う。 マナトレに取組ませることで基礎学力の定着を図る。 3学期を中心に、進路に関するHR活動を各クラス5時間行う。		
	基本的な生活習慣、規範意識などの社会性を身につけさせる。	宿泊体験等を通して、規範意識の定着を図る。 面談を定期的に行い、基本的な生活習慣に対する意識付けを行う。 学年集会の集合・点呼等を生徒主体の運営にすることにより、リーダーシップを育む。		
第 2 学 年	生徒が主体的に取り組むことができる体制を確立する。	学年集会での点呼確認、号令、進行などを学年進行係が行う。 部活動や修学旅行に向けて、リーダーを育成する。 「相互依存」を意識し、互いに認め合う集団、また、「頼られる人間」の育成を目指す。		
	2月には全員の進路希望先を決定させる。	三者面談や個人面談、年2回の進路希望調査を通して、適切な進路指導を実施する。 インターンシップや工場見学、進路ガイダンスに参加することで職業観を養う。 大人目線で社会を捉え、専門性を生かした進路選択を促す。		
第 3 学 年	生徒全員の進路実現100%を目指し、進路決定後の事後指導を行う。	夏季休業中の課外や進路指導を通して、基礎学力定着と面接試験対策を実施する。 学年団と進路指導部、専門五科との連携を図り、情報の共有に努め、適切な進路指導につなげる。 進路先決定後の事後指導に努め、規則正しい生活習慣の指導を学年団で行う。		
	社会で信頼される・貢献できる人材を育成する。	生徒が主体となって集会や行事において整列、点呼、進行等を行う。 生徒会活動、各種行事での後輩指導や日々の学校生活を通して、リーダーシップを持った生徒を育成する。 学年終礼を学期に2回以上実施し、就職・進学に対する意識の向上や規範意識の向上に努める。		

評価項目	具体的目標	具体的方策	評価	次年度の主な課題
工業教育	魅力ある学科づくりを行う。	学科の教育内容の充実を図る。 教育内容充実のための施設教材などの教育環境整備を行う。 コース制を視野に入れた学科づくりを検討する。		
	テクノボランティア、地域や中学校へのPR活動を推進する。	テクノボランティアを充実させ、地域貢献を行う。 出前授業、地域の活動等に積極的に参加し、学校の理解、PRを行う。 各学科のホームページの充実を行い、最新の出来事等を載せるなど、わかりやすく興味・関心を持たれる内容とする。		
	基本的な生活習慣の確立を図る。	挨拶・身だしなみ・時間厳守・提出物期限の厳守等の指導の徹底を図る。 実習等の授業では、環境美化・環境整備に努め、規律や安全面の指導徹底を図る。 担任や保護者との連携を図り、家庭での規則正しい生活の啓発を図る。		
建築科	進路意識の高揚を図る。	インターンシップや現場見学の取り組みを充実させ、進路意識の高揚を図る。 進路実現に向けて全職員が面接指導を行い、進路内容の充実を図る。 生徒並びに保護者へ進路情報を提供し、希望する進路実現を目指す。		
	資格取得・ものづくりの充実を図る。	資格・検定の合格率向上を目指し、充実した指導を行う。 製図、実習、課題研究、ものづくり愛好会等の活動の充実を図る。 ものづくりを通して、建築技術・技能の向上を図ると共にテクノボランティア活動を行い、地域貢献及び広報活動に努める。		
	基本的な生活習慣を確立し、規則を遵守する態度を育てる。	礼儀や挨拶など高校生としてのマナーや、教室整備や授業規律を、HRや授業などあらゆる機会以身につけさせる。 実習系の授業で、実習服の正しい着用や授業への遅刻等の指導を、授業前に全職員で行う。 安全教育を徹底するため、様々な道具や機械の操作方法、および整理整頓などの指導を実習で行う。		
環境デザイン科	基礎学力の向上に取り組み、資格取得に積極的に参加させる。	授業と実習の繋がりを考え、コース制の特色を活かした授業展開を行う。 全員受験の検定試験において、トレス技能(3級)100%、レタリング技能(3級)65%、CAD検定60%を達成させる。 課題研究において、テクノボランティアに積極的に取り組み、広報活動へと繋がる新しい取り組みを行う。		
	進路意識を高め、進路実現に努める。	3年生は、進路指導部と連携し、進路先を早期に決めさせ、第1希望の合格率を高める。 2年生は、インターンシップや工場見学などの体験などを通して、適正業種を知り適切な進路選択につなげる。 1年生は、体験実習・技術基礎を通じて、それぞれの適正業種を考えたコース選択につなげる。		
	社会に出て行くために必要な基本的な生活習慣や礼儀作法を習得できるような指導の充実を図る。	各学年ともに、皆勤・精勤の合計の割合が高い水準になることを目指す。 校内の教室等や実習棟の実習室および校外において挨拶や返事などの徹底を図る。 各種職員室や機械科の準備室・実習室での入退室時に、服装頭髪の確認と礼儀作法を徹底する。 座学や実習等で連絡・報告・相談の徹底と服装・安全作業・提出物の期限厳守などの指導を充実させる。		
機械科	希望する進路実現に向けて、基礎学力の充実及び向上を図り、個々の進路状況に対応した指導を実施する。	朝課外の内容を吟味し、内容の充実を図り、高い出席率を維持できるように生徒に働きかける。 生徒個々に応じた面接指導と希望進路先に関する知識や情報を収集し、手厚い指導に努める。 生徒の興味・関心を引く授業を綿密に計画し、各教科で進路情報も含めて授業を展開する。		
	様々な資格取得の指導やものづくりの体験活動を通して、魅力ある人物を育成する。	資格情報を適宜に提供し、各資格・検定試験の受験者を増やし、ジュニアマイスターの取得奨励に努める。 ものづくりコンテストや溶接競技大会等の指導の徹底を図り、上位入賞を目指す指導を行う。 実習等で身に付いた技能・技術を使ったものづくりを通して、喜びや楽しさを実感させる。		
	進路意識を高め、資格取得、検定試験の活性化を図る。	個人面談等を行い、自己理解の手助けをする。 卒業生がどのような職場で活躍しているか知らせ、目標を持たせる。 第2種電気工事士試験において、受験者全体で80%以上の完全合格者を目指す。		
電気科	規則を遵守する態度を育てる。	実習レポート等の提出期限を確実に守らせる。 実習時の服装や携行品の点検を毎回行い、安全に作業ができるよう徹底する。 時間の厳守、挨拶、正しい言葉遣い等の徹底した指導を行う。		
	クラスの掌握、担任の補佐を確立する。	担任を中心に、科会時には毎回現状を報告し、援助体制を確立する。 クラスの課題が担任だけに片寄らないよう心がけ、日常的に話し合える雰囲気を作り上げる。 資格・検定試験の日程を明確に示し、各学年に周知させる。		
	基本的な生活習慣の確立を図る。	学科のすべての活動の中で、服装や礼儀、挨拶等の指導を徹底し、社会性を身に付けた生徒の育成を行う。 日頃から、生徒状況を報告し合い、科職員全体で生徒を指導する体制を作る。 規律の大切さを実感させるために、実習においては、安全な操作方法や整理整頓の徹底を図る。		
材料技術科	学力向上に努め、資格取得の推進及び合格率の向上を目指し、進路実現につなげる。	授業改善に取り組むとともに、放課後や調査前学習会で専門教科指導の充実を図る。 全員受験する基礎製図検定、QC検定、危険物乙種第4類の指導を徹底し、合格率70%以上を目指す。 金属熱処理や溶接評価試験の指導体制強化を図り、ジュニアマイスター認定者10名以上を目指す。		
	ものづくりを通して、生徒理解及び地域貢献を行う。	放課後等を活用した技術指導の充実を図り、溶接競技大会で上位入賞を目指す。 課題研究や出前授業において、ものづくりの楽しさを伝え、帰属意識の向上を目指す。 テクノボランティアを通して、生徒に達成感をもたせ、自尊感情の向上を目指す。		